

# 福岡県立大学同窓会会報

発行日 平成10(1998)年7月1日  
 発行者 福岡県立大学同窓会会報編集委員会  
 住所 福岡県田川市伊田4395  
 福岡県立大学 同窓会事務局  
 TEL 0947-42-2118

## 同窓会活動に会員の皆さまの知恵と力を!

同窓会会長 矢津田克子



同窓会会員の皆さま、いかにお過ごしでしょうか。それぞれの分野で、お元気にご活躍のこととぞんじます。

早いもので、本同窓会が福岡県立大学同窓会となって、今年で第3回卒業生を会員としてお迎えしました。同窓会の一本化に伴う会則の変更も、会員の皆さまのご理解とご了承が得られ、それを示すかのように、年会費の納入にも多大なご協力をいただいております。皆さまの同窓会に対する思いの強さと励ましを、嬉しく胸に受け止めております。お陰様で、事務局の運営は好調で、事務作業等は、生涯学習資料研究室を利用させていただいております。本同窓会は、会員の皆様と大学関係の皆様を支えられて、保母養成所15年、社会保育短期大学25年、そして、福岡県立大学同窓会となって、ますますの歩みを続けております。

さて、私は同窓会の会長になって、社会保育短期大学が、4年制の県立大学へと移行する時期から、微力ながら関わりを持ち行動するうちに、同窓会がもつ役目というものを考えるようになりました。そして、同窓会は昔を懐かしみ、友と楽しく語り合い、一人一人が心のリフレッシュをする機会として、大切な役割を果たすとともに、同窓会という大きな組織になると、学校のため社会のために役立つということ、いや、役立たせねばならないということに気がつきました。

安藤前学長は、「学部、大学院とも県民の生涯学習に貢献することが設置趣旨の一つである大学は、同窓会サービスを組織的に行う必要がある」と「同窓会サービスセンター」の構想を力説され、5年先には「同窓会会館」も夢ではないと語っておられました。その安藤学長も3月で退任され、4月より保田井教授が学長に就任されましたが、同窓会サービスセンターの構想は引き継がれていくことと思います。

さて、同窓会はこれにどう答え、どのように活動す

ればよいのでしょうか。私には、まだ答えは見つかっていませんが、心配はしておりません。会員の皆様から、素晴らしい知恵と力が寄せられると確信していますから。

21世紀に向けて、世界的に少子高齢化の傾向にあるといわれており、ますます高齢者福祉の充実が必要となるでしょう。それと共に、数少なくなる若者を、これからの社会を支える若者を、育てることも忘れてはなりません。その役目を持っているのが、「社会福祉系の総合大学」として発展しつつある、「福岡県立大学」です。保田井学長をはじめ大学職員の皆さまのご指導をいただきながら、大学と共に歩き、支え、何らかの役目を果たせるような同窓会になりたいものです。

最後になりましたが、安藤前学長には社会保育短期大学の時代から、県立大学の同窓会となるまで、大変お世話になりました。心暖かくご指導いただきましたことを心より御礼申し上げます。安藤前学長がこれからも、ご健康で益々ご活躍されることをお祈りいたします。

## 社会の福祉化と個別化の尊重を目指す

福岡県立大学長 保田井 進



今年の入学式も、恒例にならって手話通訳のサークル「ハンド・ポスト」の学生諸君が手話通訳を行うために、数日前から、知事の挨拶、学長告示の原稿を手にいれて春休み返上の練習をしていました。入学式の前日、サークル代表の学生が学長室に来て「手話通訳の立つ位置はどうでしょうか」と聞きました。

手話通訳が壇の端にいたのでは、聴覚障害のある人にはまったく別の方に視線を向けて聞くことになり、これではノーマライゼーションにはならないと学生の質問は遠慮がちながそのような意味だと受け止めました。さっそく、事務局長に趣旨を説明して、手話通訳の位置を話す人の側に立たせることはできないかと相談しました。大学式典の会場設営、執行準備は庶務課を中心に事務局が数日前から作業を始めており、早速、前例を事績で調べることになりました。ここで私

は官僚制度の堅実さと慎重さに感心してしまいました。事績には前年までの写真と式場のセッティングの図が保存、たとえ職員が移動によって代わっても、過去のやり方には長年の経験によって蓄積された確実で誤りの少ない方法とされるのです。それを変更するには担当者の勇気ある決断が必要になります。

そうでなくても、あの視聴覚ホールは手狭で、壇上の知事他の来賓席、役職者や学科長の座席は窮屈で、手話通訳者の待機席も移動の空間にもゆとりはなく、「趣旨はわかりますが、現実には無理ですよ。」と断定されればおしまいです。しかし、事務職の皆さんはそうは言わず、セッティングが変更され、動線が検討されたのです。そして式の当日、手話通訳は話す人の側で通訳をし聴衆は全て同じ方向に顔を向けて聞くことができました。

最近「バリアフリーからユニバーサルへ」という言葉が言われるようになりました。障害者のために一応の対応をしていますと言いながら、障害者用のトイレが不便であったり、駅の昇降機が貨物運搬と併用であったり、一般利用者にとって遠く迂回しないと利用できないのではユニバーサルとは言えないのです。

次に、入学式には手話通訳が必要なのかという疑問があるでしょう。それは効率的判断であり、必要な人が居ないところに用意するのは合理的でないという考えです。必要な人がいてもいなくても、公共の場には情報とコミュニケーションのあらゆる手段がいつも用意されていることが社会の「福祉化」であり、福祉が少数者のためのものから、全ての人の価値と生活様式になるように、福祉文化が一般的な文化になるように、福岡県立大学の役割はそのようなことにもあると考えています。

## 8年間、お世話になりました

前福岡県立大学長 安藤 延男  
福岡県人権啓発情報センター館長



福岡県立大学の同窓会員の皆様、お元気のことと存じます。さて私は、去る3月末を以て任期満了により福岡県立大学長を退任しました。長い間、ほんとうにお世話様になりました。昭和11年4月の小学校入学以来、62年目にしてやっと「学校なるもの」から解放され、感慨一人です。申し遅れましたが、同窓会から身に余る「記念品」を戴き、厚く御礼申し上げます。その上、会長さん、副会長さんが手ずからお届け下さり、これまた勿体なく存じております。

在任中に、「アラミーナイ・サービズ（卒業生サービズ）」を中心とした大学の地域サービス体制づくりを夢見ましたが、とうとう果たせませんでした。「真に地域に開かれた」大学を実現するには、同窓生皆様のご支援が不可欠です。

同窓会といえば、去る4月上旬に初めて小学校同級生会に出席してきました。昭和17年3月にわが村立国民学校初等科を修了した70名（男39、女31）のうち、当日の出席者が27名、他界したものは17名でした。そもそも「小学校」という名称が「国民学校」に変わったのは、その2年くらい前のこと、たぶん当時軍事同盟の相手国だったドイツの「フォルクス・シューレ」を真似たのでしょう。それはともかく、わが同級生たちは、今年「古稀」を迎えた者ばかりです。どうぞ、当日の会場風景をご想像下さい。なお当日は、既に傘寿を越えられた男女お2人の恩師も加わって下さいました。

同級男子の名前は、即座にフルネームで100%当てることができましたが、女子の場合は45%（当時の小学<こあざ>まで聞くと90%）くらいです。小学校4年生以降は男女別の学級編成になったことと、中学（旧制）に進んだ私などが少（わか）くして「定時制の村民」（夜間住民）になってしまったことなども一因でしょう。2人の恩師から、小学校当時の私に関するエピソードなどを承り、懐かしく思いました。ただ戸惑ったのは、両先生が私を「安藤先生」と仰がれることでした。とにかく、一別以来56年という歳月が、外見におけるかぎり師弟の違いをなくしてしまっただけです。

近況をもう一つ。去る5月朔日から（財）福岡県人権啓発情報センター（JR春日駅前、通称クローバープラザ内）の館長（火・木だけの非常勤）を勤めさせていただいております。おついでに折、是非わがセンターにもお立寄り下さい。「常設展示」や「特別展示」もしています。65歳以上の方などは無料ですから、知人の方々にも見学をお薦めいただければ幸いです。なおクローバープラザ内には、わが財団の他に、福岡県社協と福岡県女性財団などが入居しています。そのうち県社協には、福岡県立大学同窓生が6人も頑張っていることも嬉しいことです。その上に、福岡県立大学事務局長や課長の経験者が3人も。私を加えて合計10人による「大懇親会」も、全くの夢ではないようです。

新構想大学の「広告塔」は、同窓生の皆さんです。大学設置の基本構想が単なる空手形ではなく、卒業生によって事実上体現されているかどうかを、社会が厳しく問うからです。

皆様の一層のご自愛とご活躍をお祈りし、学長退任のご挨拶とさせていただきます。

## ☆養成所・社保短・県大の卒業生が集った同窓会総会☆

1997年8月17日に福岡県立大学同窓会総会が北九州市内小倉ホテルにて盛大に開催されました。当日の出席者は133名にのびりました。午前中に総会・講演会を、午後は恩師の先生方にご出席いただき、懇親会を行いました。総会では別紙の事業報告・決算報告の承認、次年度事業計画・予算案の承認を行いました。会則の改正につきましては昨年度より大学院が設置されたこととともなう、大学院入学生を準会員、大学院卒業生を正会員とする趣旨の改正でした。

役員の変更につきましては、4期8年間の長きに渡り、副会長として同窓会を支えていただいた上里智沙子氏が三役を退くこととなりました。同氏には、短大から4年制大学移行に伴う取り組みに始まり、県立大学との同窓会一本化への実現に向けて、大変ご尽力いただきました。後任につきましては、郡谷忠士氏（県大社会福祉学科1回生）が推薦され、承認をうけました。総会の最後には短い時間ではありましたが安藤学長に大学と同窓会の関わりについてお話いただきました。

今回の同窓会開催は養成所14・15期、社保短12・13期、県大1期の方々に当番期としてご協力いただきました。前日までに数回の打ち合わせを繰り返し、当日の受付・総会・講演会・懇親会での司会等を分担いただき、万事滞りなく進行いたしました。又、こども同伴で出席する会員のために、託児を県立大学生にお願いしました。



### ○同窓会総会講演会要旨

社保短：社会福祉15回生 高橋光子

同窓会総会では、「安部博純先生（福岡県立大学名誉教授）」をお招きし、「憲法50周年にあたって」と題した講演が開催されました。

平和憲法施行50周年の記念すべき年を迎えて、(1)「歴史の節目」(2)「憲法をめぐる状況」(3)「平和の概念(広狭両議)」(4)「広義の平和問題を考える」を柱にお話をさせていただきました。憲法改正の動きをとらえ、平和憲法九条の重要性、またそれを護っていく厳しさを訴えられ、「日本が世界に誇れることは、第二次世界大戦後世界中で日本の兵士に殺された人は一人もいないということだ」というお話が強い印象として残っています。

さらに、現在の日本の平和について問題提起され、「交通戦争」「受験戦争」「阪神大震災、地下鉄サリン事件、沖縄少女暴行事件、神戸小学生殺人事件」等の複合的な背景や原因をさぐり対応策を語っていただきました。大学入試をやめることが、これら諸問題をほとんど解決できるのではないかとのお話でした。日常生活に追われる日々に、ふと立ち止まり自分の進むべき道、あるべき社会を考えさせられたすばらしい講演でした。



### ○懇親会

県立大：人間形成学科2回生 石本 光輝

総会終了後、立食パーティーの形式で懇親会が始まりました。学生部長である保田井進教授の乾杯の音頭とともに、同窓生の間に楽しい談笑が始まり、再会を飲む輪があちらこちらにできました。年代は違えど、この日は同じ門をくぐった仲間が時間のすぎのりも忘れて、楽しそうに話しているのが印象的

でした。私も、皆に交じり、同級生や先輩方と久しぶりの再会を楽しみながら、楽しい思い出話を花を咲かせることができました。時間にして2時間半くらいでしたが、ものすごく短く感じられた様な気がしました。近々、またこの様な催しが行われ、皆が元気で会えるように祈りつつ、最後は皆がそれぞれのお別れを惜しみながら再会を誓って、無事懇親会を終えました。

教授の皆さまの壇上での力強いメッセージ、そして会場に貼られた沢山の同窓生の心のこもったメッセージに支えられ、同窓生の今後にも幸せ多きことを祈りたいと思いました。



## 同窓会ア・ラ・カルト

総会前後には学年の集まりとして同期会を開き、旧交を温めている会員がいます。今回は三つの同期会を紹介します。

### <門司港レトロ巡りの同期会>

保母養成所4回生 秋枝 万紀子

福岡県立大学同窓会として、初めての同窓会総会が今回は北九州市で開催されました。総会・講演会・懇親会への参加者は現況や有意義な講演を聞いた後にそれぞれ先輩後輩との交流を深めることができました。

保母養成所4期生は、学窓を巣立ち早40年の歳月が経過しています。保育の道以外にもいろいろの

人生の道を歩み年齢を重ね還暦を迎えました。仕事も一区切りし、職務を終え定年退職者も多くなり、新たな道を歩みはじめています。人生の節目でもあり、今回の同窓会には遠くは栃木県・三重県・長崎県など各地から14名が集い、久しぶりの再会を喜びました。

小倉ホテルの同窓会会場を後に同期会の次の目的地である門司港に向かいました。まずは関門海峡が一望できるめかり山頂にのぼり、見事な眺めに感動し、ノーフォーク広場ではオープンしたばかりの林芙美子資料館で女流作家の足跡をしのび、その後に国際友好記念館をはじめ旧門司税関などの門司港レトロ散策を楽しみました。三々五々と思いで話をしながら海風に吹かれて、はね橋を歩き、夜の懇親会場である旧門司三井倶楽部に到着しました。美味しい料理をいただきながら、一度に20代の昔に帰ったような気分で、すっかり学生時代にタイムスリップして、当時の福岡百道の松林の中の建物のこと、恩師のこと、松美寮での生活など過ぎし日々の懐かしい思い出話はずみ旧交を温めることができました。次回の同期会は岡山市を予定地に、又多くの友との再会を楽しみに、それぞれの胸にほのぼのとした思いをいただきながら帰路につきました。



### <同期会久々あつての話は？>

保母養成所14回生 美濃部 恒子

1997年(平成9年)8月17日の同窓会総会は当番期のため一人でも多く集いたいと願ったものの残念ながら8人に留まってしまいました。50歳を迎えた保母養成14期の我々にとって子育てからは解放されたものの、地域の活動や、舅姑の介護などに拘束され、案外自由がきかない年令のようです。同期会も同じ会場内の小倉ホテルの一室で行いました。懇親会の直後なので「もうおなかいっぱい……なにもいらねえ。」と言ったものの2時間のうちに

は、話はずんで結構また食べたり飲んだりで大笑いでした。

頼もしき我が年代……と痛感したひとこまでした。年齢は重ねても学生時代にタイムスリップ…若い日のあの頃にもどって話が盛り上がることこそ、同期会の醍醐味でしょう。

社会的にも責任が重くなる年代となり職場の悩みもあるでしょうけど盛り上がった話は更年期の話と老後の話でした。皮肉なようで実感のある切実な話でした。記念講演の“憲法施行50周年にあたって”の意義深い話も思い出されて、物質的に豊かでも、本当に平和なのかを考えさせられました。今からの超高齢化社会にドブりはまるわが年代の平和な老後をお願い散会しました。



<同窓会初体験記>

社保短：社会福祉13回生 中川 久美  
「なーんだ、変わってないんだ！」久しぶりに会った友達の見覚えある顔と、同じくらい歳を取っているのに安堵する同窓会の始まりでした。当番期だから、今年くらい集まろうよと声をかけたのですが、30代後半の私たち、なかなか難しいものがありました。二次会も、大里ホームを中心に12, 13, 14期で10名という少々寂しい集まりでした。同窓会初心者の方の私達に対し、常連のS君は、始終大きな態度で、先輩後輩、年齢を超えて、最近まで学生だったかのように当時を懐かしみました。豆蒔きをして怒られたこと、伊田小の子供たちと共用していた売店、合宿所でのコンパ等、思い出すのはポプラ並木の古い校舎ばかり、建て替えられたのが本当に残念です。

また、大里先生の突然の訃報、心より、ご冥福をお祈りします。もう一度、授業を受けたかったものです。



※来年開催予定の同窓会総会は養成所1・2期、社保短14・15期、県大2・3期の方が当番期となっております。よろしくお願いいたします。

昨年度寄付金について

97年度卒業生（県大3回生）より卒業パーティーの残金（59,208円）を3月末に同窓会宛ご寄付いただきました。新社会人のみなさまの思いに感謝し、厚く御礼申し上げます。また、昨年度会費徴収のおりに同窓生7名の方より（49,000円）ご寄付いただきました。これらの寄付金は同窓会活動のため有意義に活用させていただきます。

○同窓会事務局へのお問い合わせ

同窓会事務局へのお問い合わせ・各種情報については郵送でお願いいたします。

おでっちゃん!

~富良野塾が  
田川に  
やってくる~

富良野塾による芝居

「今日悲別（かなしべつ）で」の開催  
平成10年10月26日（月） 田川文化センター  
開場 18:00～ 開演 18:30～

※ご協力頂ける方（賛同人）を募集しています!

お問い合わせ 田川市夏吉3745

0947-45-9997 石井美登里まで

## 県大の今

### ○生涯福祉研究センターについて

本年4月1日より学内組織としての「生涯福祉研究センター」が新たに専任研究員1名と助手2名の陣容で発足することになりました。①子育て・成人教育、②高齢者等福祉・地域福祉、③地域社会・地域文化の3部門と、①研修・相談室、②情報管理室の2室体制とすることが確認されました。今のところ、研究費の予算が付かない厳しい状況にありますが、研究事業としては「まちづくり」と「ひとづくり」を柱に、3つのプロジェクト（福祉用具の開発と供給システムの研究、子育て支援と教育システムの研究、中学生を対象とする青少年の育成課題に関する研究）が考えられています。今回はセンター事業の一環をここにご紹介いたします。

#### <リカレント講座>

社会人の高度で専門的な学習ニーズに対応するために、昨年度から始まった講座です。本年度は「保育者のためのリカレント講座」を昨年度同様に企画しています。

#### 保育者のためのリカレント講座

—保育内容のリフレッシュ!—

期間 平成10年10月17日～12月12日

土曜日 14:00～17:10

場所 福岡県立大学生涯福祉研究センターおよび講義室

対象 保母・幼稚園教諭および保育に関心のある人  
受講料 10,000円

募集期間 9月10日～30日

#### <生涯福祉研究センター設立記念学術フォーラム>

生涯福祉研究センター設立を記念して下記のようなフォーラムが行われる予定です。

#### 子どもの危機と子育て支援ネットワークワーキングの課題

—福岡県型生涯福祉社会の形成を目指して—

期日 7月4日(土) 2:00～5:00

場所 福岡県立大学(視聴覚ホール)

※詳細については、生涯福祉研究センターまでお問い合わせ下さい。(TEL:0947-42-2118)

### ○その他の地域開放講座について

地域社会に開かれた大学として、身近な学問領域

で広く市民の方々との交流を目指し、毎年様々なテーマで公開講座が開かれています。本年度は昨年度好評でした「心理学の世界」の続編として「心理学の世界PARTⅡ」が、心の科学の最前線をわかりやすく理解できる内容で企画され、5月30日より7回シリーズで実施されています。

※今回は締切が5月末でしたので、ご案内としてではなく、大学の事業のご紹介として掲載いたします。ご了承下さい。その他県立大学の状況につきましては、県立大学ホームページでもご紹介しています。<http://www.fukuoka-pu.ac.jp/>

### ○附属図書館は卒業生に開放されています

本年度より、図書館開館時間が延長され地域に開放されています。卒業生に限って、貸し出しのサービスを行っています。どうぞ、ご利用下さい。

#### <開館日・開館時間>

月～金 9:00～20:00 (大学の授業期間)

月～金 9:00～16:30 (大学休暇中)

#### <貸し出し(卒業生のみ)>

期間 1週間 1回に3冊まで

開館日・開館時間については、臨時に変更がありますので、お問い合わせ下さい。

大学教員動向



平成9年度からの先生方の動向についてお知らせいたします。

#### <退官された先生>

安藤 延男学長 (H2.4.1～H6.3.31社保短  
H5.4.1～H10.3.31県大)

武内 勝彦教授 (S51.4.1～H6.3.31社保短  
H5.4.1～H10.3.31県大)

松永 俊文教授 (H5.4.1～H10.3.31県大)

糸 静子講師 (S62.4.1～H6.3.31社保短  
H5.4.1～H10.3.31県大)

#### <新しく着任された先生>

木下 謙治教授 (H10.4.1)

櫻井 国芳講師 (H10.4.1)

本年4月1日より本学学長に、  
保田井 進教授が就任されました。



# 県大生の就職状況

(県立大学学生課調べ)

平成9年度卒業生の就職状況は、4月6日現在、卒業生152名のうち、就職者101名、進学者3名です。就職先としては民間企業・病院・社会福祉施設・保育所・公務員・その他となっています。

平成9年度卒業生就職状況一覧表

	卒業生	民間企業	病院	社会福祉施設	保育所	公務員	大学院	その他
社会学科	54	37		1		3		
社会福祉学科	48	3	13	8		5	1	1
人間形成学科	50	13	7	4	3	1	2	2
計	152	53	20	13	3	9	3	3

在学生・卒業生への求人情報提供につきましては、同窓会活動として取り組んでいます。職場や関係機関での求人情報がありましたら、県大学生課まで、是非ご連絡ください。

TEL 0947-42-2118 (福岡県立大学 学生課)

## サークル紹介

### ○手話サークル

HAND-POST

人間形成学科4年

迫 美都子



私たち手話サークル「HAND-POST」は、毎週木曜日に田川市手話の会の方に来ていただいて、耳の不自由な方との交流を深めながら手話の勉強をしています。その延長として大学祭や田川地区で開催される「ふくしまつり」で手話コーラス、また、大学の卒業式や入学式の際に手話通訳も行っています。

これからも、聴覚障害者の方々との交流の中で、手話の技術だけではなく、聴覚障害について、また、聴覚障害者の方々が生活の中で直面している問題点等についても学んでいきたいと思っています。

### ○硬式野球部

マネージャー 居石 奈々子



我が硬式野球部は、現在、1年5名・2年4名・3年2名・4年4名の計15名という少ない部員のなか、講義後の短い時間ではありますが、監督のもと、日々練習に励んでいます。1年間の主なスケジュールとしては、九州大学野球選手権大会・北九インカレがそれぞれ春と秋に、6月頃に九州インカレがあり、春季と秋季のリーグ戦(新福岡大学野球連盟)の前には、合宿練習を行っています。コツコツと積み重ねた練習の成果か、今春季リーグ戦では5チーム中、3位に浮上しました。また、1期生のOBの方々の努力と地域の方々のご意向によって後援会も結成され、川渡り神幸祭や中小企業祭り等に参加させていただき、地域の方々との交流も深めています。

これからも卒業生の先輩方が築いてきた野球部を盛り上げていきたいと思っていますので、応援よろしくをお願いします。



## 同窓生の声・声・声……

昨年の同窓会総会開催(1997.8.17)にあたり、返信はがきを利用してメッセージを募集しましたところ、沢山の方がメッセージをお寄せくださいました。紙面の都合上すべての掲載ができないことが、本当に残念です。掲載できなかった方は末尾にお名前のみ紹介させていただきます。

さあ、学生時代の思い出の方と出会ってください。

### ○福岡県立保母養成所

- ・卒業後半世紀近くが過ぎ、往時を思うと夢のようです。  
(宮崎敬子:1回生)
- ・以前児童相談所や教護院に勤めておりました経験を生かし地域の子どもの相談に応じています。これからもずっと生き甲斐を持って社会に貢献したいと思っています。  
(梅崎昭子:2回生)
- ・主人を送って1年。そろそろ自分だけのこれからを考えねばと思って生ます。  
(斉藤幸子:2回生)
- ・県立4年大卒業生を職場で受け入れたいです。希望者を募ります。 高取保育園(福岡市早良区) TEL092-881-4162  
(西福江:2回生)
- ・現代に生きる自分への自己確認と21世紀に向けて前向きな展望を培って欲しい。まずは健康な心と身体の育成!!  
(松本和子:3回生)
- ・7月14日に卵巣ガンのため亡くなりました。3年間の闘病生活でしたが、精一杯楽しく明るく過ごし、周りの方がその姿を見て励まされる日々でした。どうぞ皆様もお身体に気をつけお過ごし下さいませ。  
(清水教子:3回生様ご家族より)
- ・東京は児福法の改正に伴い各地で勉強会が行われ、小児化に向けて保育サービスのあり方を求めています。  
(北野豊子:6回生)
- ・8期生の皆さん、幹事をそろそろ北九州の方にかわってください。  
(上里智沙:8回生)
- ・35年間、子ども達との楽しいふれあいがあったことを喜んでおります。健康!家族!に感謝です。くれぐれも健康に気をつけられてそれぞれの仕事を楽しみ、頑張ってくださいませ。  
(田中稔子:8回生)
- ・皆様、同窓会で旧交を温めておられることでしょう。都合が悪く出席できないのが残念です。養成所卒としては学校が遠くなくなってしまいましたが、同窓会はいつまでも私達の青春のふるさとであって欲しいです。  
(西紀代子:8回生)
- ・昔、昔の養成所時代の先生方。そして、九大、教育大の講師の先生方の消息わかるだけでもよいので知りたい気がいたします。  
(大塚紀子:9回生)
- ・昨年久しぶりに帰りましたが、全くの浦島太郎さんでした。平成6年より主任児童委員をしておりますが55才という年齢が重く感じられます。身も重くなりましたが元気で駆け回っております。  
(小林澄子:10回生)
- ・同窓会に出席できる人は幸せいっぱいの人です。私もまだ現役で活躍中のため8月17日は研究会です。とっても残念です。福岡県のレベルの高さ(すべてに)にうらやましく思っております。仲間が少なく苦労しております。  
(宇都木元子:11回生)
- ・みかけは50代のおばさんですが、気持ちは若いときのまま、成長していないといえはそれまでですが…。  
(穴吹三重子:12回生)
- ・仕事を辞めていましたが、子どもの笑顔が忘れられず、年齢制限(35才)を意欲で押し切り再就職しました。50代、人生これからだと思っています。ガンパロー!  
(後藤敦子:13回生)

・50才になりましたが、この歳で年長組32名を担任するのはしんどいです。身体もあちこちガタがきて個人的にもしんどいので今回はすみません。みんなどうしているのかな?一生懸命生きてます。  
(花田洋子:14回生)

### その他メッセージをいただいた方々

浦谷富士子(1) 金子節子(1) 渡邊エイコ(1) 古閑昌(1)  
北原嘉子(2) 田尻真智子(2) 福田圭子(3) 松田幸子(3)  
原田寛子(3) 原田寛子(3) 萱野アヤ子(3) 平間多喜子(4)  
山田明子(4) 三上利子(4) 小森美智子(4) 小森美智子(4)  
陣川勢津子(4) 溝部美祐子(4) 山口トメ子(4) 皿本洋子(5)  
堀江綾子(5) 伊達ヨシ子(5) 西田和子(5) 小田光江(6)  
藤本黎子(6) 春山和寿子(7) 行実美智子(7) 梶屋美那子(7)  
佐東恵子(7) 松永順子(8) 関根征子(8) 高島ミドリ(8)  
西川葵子(8) 中路智代(8) 塩見恵子(9) 松尾妙子(9)  
上田ヤス子(9) 真野征子(9) 真島吾代(10) 黒羽トミ子(9)  
服部由紀子(10) 田川紀子(10) 益田聖子(10) 佐田カツ江(10)  
中村春海(11) 森宏子(11) 逸見征子(11) 矢野篤子(12)  
田牧美智代(12) 南野陽子(12) 古江一恵(12) 清水紘子(13)  
嶋津迪代(13) 柿原智子(13) 西田節子(13) 柏谷裕子(13)  
桑野悦子(13) 中村信子(13) 一ノ瀬紀美子(14) 奈良岡路子(14)  
牧政江(14) 高橋和子(15) 松田和子(15) 植木道子(15) 濱川千代子(15)

### ○福岡県社会保育短期大学

- ・初めて参加します。ちょうど里帰り期間中でラッキー!でした。当時の方何人くらいにお会いできるかしら…。楽しみにしています。  
(浅木由美子:保育1)
- ・同窓会の皆様、また同窓会のこれからのますますの発展をお祈りします。(名称は変わっても)母校をいつまでも忘れずにいたいものです。  
(福光洋子:社会福祉1)
- ・年1回、寮生活を共にした仲間と卒業以来同窓会を各々の地へ出掛け続けています。しかし、この間2人の友を病で亡くしてしまいました。お互い健康第1で頑張っていきたいです。  
(谷口由美子:保育2)
- ・会報をいただき、学生時代を懐かしく思い出し、また、新しい大学の様子も色々思い浮かべてうれしい気持ちです。  
(栗原けい子:社会福祉2)
- ・子育てが一応終わってから、再び福祉の仕事に就いてしまった自分に苦笑することがあります。大阪府の中で、唯一の7000人(人口)の村で山を越え、谷を越えの在宅福祉です。  
(久野智子:社会福祉4)
- ・今年も県大の公開講座を聴講させていただきました。できるだけ勉強の機会を今後も持ちたいと思っています。  
(入江和子:社会福祉4)
- ・どなたか幹事を代わっていただけませんか?  
(富松真由美:保育5)
- ・卒業して早20数年、早いものですね。社保短時代が懐かしく思い出されます。子育ても一段落、介護福祉士として再出発しています。皆様の御多幸をお祈りしています。  
(松中洋子:社会福祉5)
- ・卒業以来、久留米市立保育園に勤務して24年目になります。子ども達から学ぶことが多く、この仕事を通じて自分自身を成長させてもらったような気がしています。息子、娘が大学受験を控え、志望校を考慮している中、自分自身の青春であったあの田川での自由なそして楽しかった2年間を思い出しています。  
(早野恵美子:保育6)
- ・平成11年のお泊まりクラス会を楽しみにしています。しかし、月日のたつのは、早いんですね。身体がガタガタしていますが、いたわりつつ頑張っています。  
(別府真理子:保育7)
- ・短大を卒業し、勤めて20年過ぎました。職場であと2人



の卒業生とがんばっています。子どもも多様化し、心身症や不登校の子ども達と向き合っています。専門的なことがわからず、なやむこともしばしばです。(山崎典子:社会福祉8)  
 ・社保短の卒業生としては四年制になったことはよかったですと思いますが、名前が無くなったことに寂しさを覚えています。県立大学の発展を心よりお祈りしています。

(森智子:社会福祉8)

・研修などで北九州の方にはお会いできることもあります。遠方の方にはなかなか会えません。みなさんが健康で笑顔で過ごしていることを祈って。又いつかお会いできますように。

(加藤雅子:保育9)

・9回生(やさしい先輩方!!)・10・11回生(よく気の利く後輩達!!)の坂口ホームの皆さんへ。長崎空港のすぐ近くに住んでいます。お便り待ってます!近況をお知らせ下さい。私、専業主婦です。パートもやっています。病院です。

(石橋裕子:保育10)

・十回生保育科の皆さん、元気ですか。卒業してはや二十年になりますね。現在の心境や想いなど文集にできたらいいな~なんて一人思っています。HIROでした。

(富永広子:保育10)

・附属幼稚園が廃園になるとのこと、とても残念です。実習に通った日々が懐かしく思い出されます。

(吉次富美子:保育12)

・昨年1年間は、保母のパートとして復帰していました。今年は第3子出産(9月下旬予定日)をひかえてただ今、産休中です。最後の出産となるでしょうから、ドキドキ、ワクワクです。ちょっと年齢的にはきついものもありますが、この不安をなんとかきりぬきたいです。(白石昌子:保育13)  
 ・昨年夏は短大時代にアルバイトしていた英彦山の民宿に行ってきました。田川、英彦山、懐かしい限りです。

(野田智美:社会福祉13)

・あの頃に戻りたい!

(福丸繁浩:社会福祉14)

・いつもご連絡ありがとうございます。大里先生の訃報に驚きました。大里ホームであり、年賀状等のやりとりもさせていただいておりました。何もできず、残念に思います。

(寺師美代子:社会福祉15)

・失敗すると世間の目や意見がとてもきびしくなる事があります。次に進むステップととらえてみます。笑顔を絶やさない力持ちのあかるい保母さんになりたいです。

(吉田佐江子:保育15)

・地味といわれようと、田舎くさいと言われようと強くたくましく過ごした社保短時代の暗い青春時代を大いに語り合ってください。(牛島藤香:社会福祉15)

・来年の当番期が円滑に行きますよ~に!!

(秋元裕子:保育15)

・社保短の学生寮に住んでいた2年間の事を楽しく思い出させていただきました。同期の方々、皆さん元気ですか?私は2児の母となり専業主婦の毎日です。

(宮崎理恵:社会福祉18)

・皆さんお元気ですか?私は2人目授乳中。子どもはブクブク。母はガリガリ?いつかお会いできるといいなといつも思っているのですが…。宮崎・日南に来られたときにはご連絡下さいね。(谷朋子:保育19)

・大里 坦先生のご冥福を心より祈念申し上げます。

(森岡輝雄:社会福祉19)

・昨年9月に子供が生まれ、現在は育児に専念し、忙しくも楽しい日々を過ごしています。大学のますますの発展を願っています。(松本さよ子:保育20)

・富山からきていた私を覚えていますか?今、横浜で2人の子どもを育てながら仕事をしています。また、いつか会える日を楽しみにしています。(坂本伸子:社会福祉20)

・卒業以来初めて総会に出席できそうです。今も福祉現場で働いている同窓生に会って刺激を受けたいです!

(竹本里美:社会福祉20)

・今、子育ての真っ最中。忙しくて行けません。

(森本恵利子:保育21)

・福祉施設で働いていましたが、今は3才と1才になる子どもと毎日格闘しています。頭の中は食べさせることと、アンパンマンの遊ぶこと、寝ることといっぱい…。というところに会報が届きとても新鮮でした。自分と社会をつなぎ止めるものがあつた!という感じでした。そして自分の中にある仕事への思いを再確認できました。(大村和恵:社会福祉22)  
 ・TVなどで田川が出たりすると、あの頃を懐かしく思い出します。バイト先のおじちゃん、おばちゃん元気だろうか?湯山の子供達は大きくなったんだろうなあ、などなど。私の方は気ばかりはあの頃のままですが…皆さんもそうですね?

(永友佳代:社会福祉23)

・多くの先輩方、同級生、後輩達が現場でご活躍なさっていることを耳にするたび、心強く感じています。

(見月佐知世:社会福祉23)

・社保短から県立大同窓会へ受け継がれていくこととても嬉しく思います。社保短最後の卒業生より(藤松佳代:保育25)

### その他メッセージをいただいた方

土生慶子(保1) 宮崎敏子(保1) 多田千恵子(福1) 城はるか(保2) 妻鳥理映子(福3) 荒津栄子(保4) 松永久子(保4) 小川歩子(福4) 竹下里美(福4) 宮本万須美(福4) 古賀美千代(保5) 江藤啓子(保5) 守田まつみ(福5) 西野みさ子(福5) 大畑美也子(福5) 滝本真理子(保6) 泉まゆみ(保6) 松元良子(福6) 吉田みどり(保6) 八児恵子(福6) 小田悦子(福6) 相良松代(福7) 山脇登紀子(保7) 井之上真由美(保7) 山田笑子(保7) 西 妙子(保7) 松岡奈保子(福7) 西田成子(保7) 古賀裕子(保8) 鷺頭恵子(保8) 平野昭恵(福8) 石橋サチ子(福8) 黒木松美(福8) 新飼恵美子(福8) 村上まり子(保8) 山田愛子(保9) 佐藤美保(保10) 平野加代子(福9) 松本由美(福9) 平田恵子(福9) 濱田詠子(保9) 笹山直子(保9) 森はるみ(福9) 小野多規子(保10) 池邊あけみ(保10) 元村孝子(保10) 高橋はつみ(保10) 柴田須美江(福10) 千々輪恵(福10) 藤田優美子(福10) 中西美由紀(保11) 山口万里(福11) 藤本真里子(保11) 田中陽子(保11) 島添淳子(保11) 前川幸子(福11) 高山芳枝(福12) 岩崎由美(保12) 野田恭英子(保12) 道下恵子(保12) 山下寿子(福12) 楠本淳子(福13) 内田美恵(福13) 荒木静恵(福13) 中澤まゆみ(福13) 國崎幸子(福13) 豊饒三千代(福13) 本多誠美(福14) 榎谷保徳(福14) 有本はるみ(福14) 小川祥子(保14) 渡辺いずみ(保14) 柿本美穂(保15) 福田智江子(福15) 柴田直子(保15) 五十子恭代(福15) 赤星智子(福15) 三島弥生(福15) 清武清美(保15) 垣原恵子(保15) 仲泊 彰子(保16) 石橋加代子(保16) 伏見みか(保16) 畔川智子(福16) 間地たづ子(福16) 森永真寿美(保17) 木浦禎子(福17) 川添恵(福18) 河野美佳(保18) 有江美恵子(保18) 榎谷素子(保18) 間所あゆみ(保18) 式場麻子(福16) 角町幸代(福18) 早野紀子(福19) 中村早苗(保19) 公田充子(福19) 佐藤美香(保20) 岡田千恵(保20) 野田育子(保20) 甲斐美香(福20) 三浦めぐみ(保21) 萩尾貴子(福21) 諸石有美子(福21) 高田智恵子(福21) 浜田裕美(保22) 濱田英子(保22) 岡美和(保22) 荒津佳世子(保22) 山本圭(福22) 早瀬淳子(保23) 鶴川真紀(福23) 金子良子(福23) 畑中尚樹(福24) 内野真夕子(福25)

### ○福岡県立大学

・皆様、お元気でお過ごしでしょうか。私も社会人2年生として毎日忙しいものの、中学生に囲まれながら楽しく充実した日々です。(岡田早苗:人間形成1)

・私がいたことを記憶の片隅にでも止めておいてくれたらとても幸せです。私にとって、福岡県立大学で過ごした4年間

は1番大切に、幸せな学生生活でしたよ。(伊藤明美:社会1)  
 ・皆様、ご苦労様です。お手伝いしたいので、今度は、平日に、または夜に、同窓会をしていただきたく思います。土・日昼間は、出席することができません。(梶原亜希子:社会1)  
 ・「富良野塾」も来年春に卒業。その後はまだ未定。  
 今年9月は大阪公演、10、11月はカナダ公演に行きます。8月は稽古中なのでみんなで楽しんで下さい。広い空の下、大地の上で汗まみれ、泥まみれになって頑張っています。みんな頑張れ!!(栗山勝行:社会福祉1)  
 ・役員の方へ。会報、おもしろく拝見しました。お疲れさまです。次回は、現在の大学の方(様子)もよかったですら載せて下さい。(松島稔:社会1)  
 ・皆様、新しく同窓生の1人になりました。これからもよろしくお願ひします。(石本光輝:人間形成2)

**その他メッセージをいただいた方**

原之園英子(社会福祉1) 久野隆道(社会福祉1) 神崎美恵(社会福祉1) 植木美和(人間形成1) 國永美保子(人間形成2) 出井文(人間形成2) 馬場友良(社会2)

**先生方からのメッセージ**

・皆さんと触れることは少なかったですが、先生方とは色々議論もし、昔日の事が懐かしく思い出されます。すでに私は80歳を過ぎましたが、化学品検査協会なるところで、まだ若い連中を相手に勉強の旗振りをしております。同窓会事務局(名簿係?)への希望。名簿を5年~10年毎に発刊の予定とありましたが、せめて隔年発行にこぎ着けて下さい。(社保短第四代学長:前川一之)  
 ・御盛會をお祈りいたします。(社保短第五代学長:向井忠亮)

・9月4日に76才になります。年齢相応に身体的にあれこれ問題がありますが、大体元気で、問題の高齢者単身世帯の生活を続けています。学生には迷惑のことかと思いますが、依頼されて福岡市医師会看護専門学校の非常勤をしています。皆さんも元気で活躍して下さい。暇の折はお訪ね下さい。ご健康を祈ります。(内海洋一)  
 ・体調を壊し入院のため、欠席いたします。お世話係の方に迷惑をおかけいたします。皆様によりしくお伝え下さい。(黒谷九平)

・旧社保短大の卒業生、現県立大の卒業生及び現役学生諸君、お元気で活躍の事と存じ、ご慶祝の限り。同窓会も多様化しつつありますのご発展慶賀至極。私は社保短大第3期生から13期生までお世話になりましたが、あの頃はまだ豊州炭坑が残っており、ホームの学生らと見学に行き、帰りに炭坑節に出てくる伊田の堅抗を見て帰ったりしました。田川市のあちこちに炭坑時代の名残りが感じられましたが、今頃は大学の街に変貌を遂げつつあるのでしょうか。清田勝彦教授、城井助手にも大変お世話になりました。関東、関西、中京地区でも卒業生諸君のご活躍の話をよく承ります。頼もしく思います。県大のますますのご発展を!(檜垣巧)

・生涯学び続けて下さい。又できるだけたくさんの人と豊かな交わりを持って下さい。それがきっと生き生き、生きる力となりましょう。期待しています。(坂口りつ子)  
 ・皆々様、益々の御清栄のことお喜び申し上げます。嵯峨山善信先生、平成7年5月1日永眠なされました(86才)。現在は毎月1日に7~8人は集まり先生の口癖の「勉強しませうね」を想いだし、仏像の話、展覧会の予定等、話合っています。先生に尋ねるとすぐ返事の返ってきたのに今は本を開き、めがねを探すもどかしさです。皆様、日々はもうしばらくお話を聞きたかったと私達も教養をつみながら暮らしたく思っています。先生のお宅には辰川様はじめ早川、

石橋、川江、有田、酒井様他時々お寄りになります。暑さに向かう折、皆々様ご健康にお気を付け、ご発展をお祈りいたします。(嵯峨山善信方:中井のぶ江)  
 ・新たな出発点に立ち、御発展と御繁栄を心から祈念申し上げます。(荒牧正憲)  
 ・短大同窓会が県立大学同窓会となり、新しい組織として発展的に再出発されますことをお慶び申し上げます。県立大学の発展とともに会員の皆様の親睦交流と御健康、御活躍を期待いたしております。(中川哲也)

・保育科卒業生の皆さんへ  
 社保短発足3年目に赴任して以来、在職28年となりました。4年制大学、大学院設立と大学は発展を遂げていますが、私にとりましては、短大時代が一番充実した時期でした。ヤンパパッと手取り足取りのレッスンを懐かしく思い出します。あの頃の卒業生の皆さんは今保育現場では中堅どころ、ベテラン保育者として大いに活躍のごとでしょう。かえって羨ましく思います。何の取り得もなく大学に身を置く私が現在取り組んでいますことは生涯学習としてのピアノ教育。つまり、大人のピアノ学習の充実を願ひ、大人をも巻き込んだピアノ検定を実施しようとその事務局を営んでいるという事です。学生時代にせっかく培ったピアノ技術をもう1度甦らせるという意味で、この検定を皆さんにもお勧めいたします。勝手な宣伝を致しました。何はともあれ、昔を知る教員としてもしばらくは皆さんの母校にいますのでどうぞ遊びにおいで下さい、お待ちしております。(乗永昌子)  
 ・県大にきて4年目に入りました。昨年秋から学内LANが稼働し、学内のパソコンからインターネットが使えるようになりました。今年の春からは、3、4年生の希望者に限ってですが、学生の電子メールのやりとりも始まっています。本学のホームページも開設しました。アドレスはwww.fukuoka-pu.ac.jp/です。もしインターネットを勤務先または自宅から利用できる方は1度覗いてみて下さい。(石崎龍二)

**新卒業生のメッセージ**

この春卒業した3回生の皆さんのメッセージです。  
 ・県大3期生、卒業バンザイ!!!  
 今はみんなそれぞれ別々のところで頑張っているけれども、同窓会で再び会えることを楽しみにしています。(足立英之:社会3)  
 ・福岡県立大学同窓会会員に幸多かれ!!(江口潤:社会3)  
 ・卒業生の現況を今よりも、より充実させて下さい。これから、よろしくお願ひします。(小野英和:社会3)  
 ・現在、公務員受験の為に、民法・行政法・憲法などの法律について勉強しています。大学を卒業した私ですが、これらの法律についての知識がかなり不足しているという事実を目のあたりにして、非常にショックを受けています。なぜならこのような法律の知識を持たずして社会に出ていくことは、戦場に丸腰で飛び込むようなことであると思えるからです。社会の一員として最低限度の常識である法律を学んでいくことが私達が幸せに暮らす為には必要ではないかと改めて認識しています。(田淵克典:人間形成3)

＜編集後記＞  
 ○編集委員会を設置して2号目の会報です。不慣れな点が多く会員の方がどのような感想を持たれるか、非常に不安です。年に1度の発行ですので、タイムリーに大学の近況や情報をお伝えできないのも悩みの種です。会報についてのご意見、ご要望を是非、お聞かせ下さい。また「同窓生の声」にあなたの投稿をお待ちしています。  
 ○編集委員会では編集委員を募集しています。1年間に2~3度大学まで来ることが出来るあなた、編集と同窓会に興味のあるあなた、編集委員になってみませんか?

<福岡県立大学同窓会総会報告>

開催日時 平成9年8月17日(日) 午前10時20分から  
 開催場所 北九州市小倉北区 小倉ホテル 出席者 133名

- 1、同窓会総会 (10:20~11:30)
  - ① 1995-96 (H7-8) 年度事業報告・承認
  - ② 1995-96 (H7-8) 年度決算報告・監査結果報告の後承認
  - ③ 1997-98 (H9-10) 年度事業計画案審議・承認
  - ④ 1997-98 (H9-10) 年度予算案審議・承認
  - ⑤ 同窓会会則の改正(会員)第4条 「正会員」に 「福岡県立大学大学院修了者」 追加  
 「準会員」に 「福岡県立大学大学院入学者」 追加を 承認。
  - ⑥ 役員改選
    - 退任: 副会長上里智沙子氏  
 継続: 会長矢津田克子氏・副会長内田ちづる氏・川上鉄夫氏については、継続
    - 副会長に郡谷忠士氏(県大社会福祉学科1)が推薦され、承認。
- 2、記念講演会 (11:40~13:10)
 

講師 : 安部 博純 先生 [福岡県立大学名誉教授]  
 演題 : 「憲法施行50周年にあたって」
- 3、懇親会 (13:20~15:00) (記録 養成所: 14回生 元田 和恵)

○一般会計

1995年度・96年度決算報告

1995年度決算報告

項目	予算	決算	増減	内訳
収入				
1繰越金	2,261,938	2,261,938	0	
2入会金	0	0	0	
3寄付金	500,000	704,500	204,500	総会案内時寄付者187名
4売上金	0	4,000	4,000	
5雑収入	550,000	694,855	144,855	総会会費471000、貯金利息223855
合計	3,311,938	3,665,293	353,355	
支出				
1事務費	1,138,000	1,170,511	32,511	
会議費	100,000	68,743	-31,257	幹事会、三役、総会準備打ち合わせ
印刷消耗	330,000	321,790	-8,210	総会案内資料等
通信費	300,000	309,760	9,760	総会・幹事会等案内状送付
旅費	100,000	69,960	-30,040	幹事会、総会準備打ち合わせ旅費
渉外費	20,000	28,807	8,807	県立大学卒業式花輪、祝電
事務補助	288,000	371,451	83,451	アルバイト
2事業費	500,000	560,000	60,000	総会会場費
3寄付金	10,000	0	-10,000	
4予備費	20,000	8,240	-11,760	貸金庫保管費
5繰越金	1,643,938	1,926,542	282,604	
合計	3,311,938	3,665,293	353,355	

1996年度決算報告

項目	予算	決算	増減	内訳
収入				
1繰越金	1,643,938	1,926,542	282,604	
2入会金	0	0	0	
3寄付金	50,000	350,343	300,343	県大1期生より寄付
4売上金	0	0	0	
5雑収入	100,000	21,801	-78,199	貯金利息21801
合計	1,793,938	2,298,686	504,748	
支出				
1事務費	506,000	342,260	-163,740	
会議費	100,000	2,678	-97,322	
印刷消耗	20,000	13,000	-7,000	県立大学1期生用会の説明文
通信費	50,000	35,383	-14,617	県大卒業生連絡先確認文書送付
旅費	100,000	0	-100,000	
渉外費	20,000	43,299	23,299	県立大学入学式・卒業式花輪・祝電
事務補助	216,000	247,900	31,900	アルバイト
2事業費	10,000	2,719	-7,281	
3寄付金	10,000	100,000	90,000	県立大学へ(日中学術交流協賛金)
4予備費	50,000	19,440	-30,560	貸金庫保管費、印刷代
5繰越金	1,217,938	1,834,267	616,329	
合計	1,793,938	2,298,686	504,748	

○特別会計資産

17,634,936 円

1997年度・98年度予算

1997年度予算

項目	1997予算	1995決算	内訳
収入			
1繰越金	1,834,267	2,261,938	
2入会金	1,800,000	0	新入生入会金10000*180
3会費	10,200,000	0	年会費3000*3400
4寄付金	50,000	704,500	
5売上金	0	4,000	
6雑収入	500,000	610,140	総会参加費5000*130
合計	14,384,267	3,580,578	
支出			
1事務費	2,075,600	1,170,503	
会議費	80,000	68,743	幹事会、三役会、総会打ち合わせ
印刷消耗	350,000	321,790	会報、葉書、総会案内資料印刷
通信費	550,000	309,752	総会案内、返信葉書
旅費	250,000	69,960	幹事会、総会準備打ち合わせ旅費
渉外費	50,000	28,807	
事務補助	795,600	371,451	アルバイト6630*120
2事業費	600,000	560,000	総会会場費等
3寄付金	200,000	0	県立大学記念事業等へ
4予備費	11,508,667	8,240	
5繰越金	0	1,841,835	
合計	14,384,267	3,580,578	

1998年度予算

項目	1998予算	1996決算	内訳
収入			
1繰越金	11,508,667	1,841,835	
2入会金	1,700,000	0	新入学生会費10000*170
3会費	300,000	0	年会費1500*200
4寄付金	10,000	350,343	
5売上金	0	0	
6雑収入	0	21,736	
合計	13,518,667	2,213,914	
支出			
1事務費	1,602,000	273,448	
会議費	80,000	2,678	会場費等
印刷消耗	200,000	14,807	会報等印刷
通信費	400,000	35,383	会報送料90*3500
旅費	200,000	0	幹事会・三役会
渉外費	50,000	40,580	
事務補助	672,000	180,000	アルバイト7000*12*4*2
2事業費	100,000	2,719	
3寄付金	300,000	100,000	県立大学記念事業等へ
4予備費	11,516,667	19,440	
5繰越金	0	1,818,307	
合計	13,518,667	2,213,914	

## 1995-96年度事業報告

### 1、同窓会一本化に向けての活動

一本化を総会で確認後、卒業前の県立大学学生と話し合い、一本化を決定。1996年4月1日より「福岡県立大学同窓会」としての活動を開始。

### 2、会報の発行

第1号会報発行（1995年度：B4-2P）

総会開催の案内状とともに、発送

第2号（県立第1期生卒業時）発行

第3号（県立大2期生卒業時）発行

第4号（県立大6期生入学時）発行

同窓会の事業概要の説明を中心とした会報

### 3、会員名簿の整理

会員の連絡先・氏名等の変更の際、随時会員の報告により名簿の整理実施。

卒業したばかりの会員については、卒業した年の夏、住所・職場等の連絡先の確認・把握のため、返信葉書を送付し、連絡先等の確認。

### 4、同窓会総会の開催

同窓会総会の開催(1995.9.10会場県立大学)

出席者110名

1993年-94年度事業報告・決算報告・監査報告

1995年-96年度事業計画案・予算案審議

規約改正審議

① 同窓会一本化にむけて一県立大学生と協議、一本化の場合「福岡県立大学同窓会」へ会名を変更する。

② 副会長の増員一2名から3名へ

③ 会費導入、入会金の増額

年会費1,500円(2年度一括納入3,000円)

入会金10,000円に

④ 特別会計を設ける。

総会当日、記念講演 講師：辻本育子氏

演題：「幸せの裏通り—現代の家族問題」を行う。

県立大学自治会を通して、県立大生の参加を呼びかける（学生の参加12名）

当番期：養成所12・13期生、社保短10・11期生

### 5、大学の発展に関する協力

県立大と中国南京師範大学との学術交流・フォーラムに関して、協賛金100,000円を支出。

### 6、学生の就職活動への援助

県立大学生へ就職ガイダンスを行う。(1995年度)

3・4年生の学生対象に、卒業生による行政・社会福祉職・保母・幼稚園教諭の職場説明・就職説明、就職活動についてアドバイス。

卒業生へ就職情報の提供を呼びかける。(会報等にて)

## 1997-98年度事業計画

### 1、会報の発行

第5号会報発行(1997年7月1日)

「会報編集委員会」を設け、年1回発行を予定。

### 2、会員名簿の整理

会員の連絡先・氏名等の変更の際、随時会員の報告により会員名簿の整理を行う。

### 3、同窓会総会の開催

同窓会総会の開催（北九州地域）

1997.8.17 小倉ホテルにて

1995-96年度事業報告・決算報告・監査報告

1997-98年度事業計画案・予算審議、規約改正等

総会当日、記念講演 講師：安部博純氏（福岡県立大学名誉教授）

県立大自治会をとおして、学生の参加を呼びかける。

当番期：養成所14・15期生、社保短12・13期生、

県大1期生

### 4、大学の発展に関する協力

開学5周年事業に協力

大学の主催する他大学等との学術交流・フォーラムに協力。

### 5、学生の就職活動への援助

卒業生へ就職情報提供を呼びかける。(会報等にて)

学生の職場訪問等に役立つよう、同窓会名簿を整理し、卒業生の職場・連絡先の確認・把握に努める。

### 6、同窓会活動の活性化のための活動

① 規約10条の常任幹事会の始動。

② 事務局体制の確立

事務局員の確保

事務局室設置を県立大に再度要望する。

③ 会費納入の要請

同窓会の活動活発化のためには、安定した財源が必要である。

今年度より、入会金が10,000円となり、会費(年会費1,500円2年度一括納入3,000円)

制度を導入した。入会金の納入については大学に協力を依頼し、卒業生には会費納入の要請を行う。